

検 定 意 見 書

受理番号 107-185		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	139	6	▼	生徒にとって理解し難い表現である。 (「注意すべき語句」に照らして理解し難い。)	3-(3)	
2	238	上8-10	右の表現では、「彼が出席する」のは当然だと「私」が主張したのか、それとも「私が出席する」のは当然だと「彼」が主張したのか、はっきりしない。	生徒にとって理解し難い説明である。 (「私が出席する」のは当然だと「彼」が主張した。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-186		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	9	4	経	表記の基準によっていない。 (常用漢字表外の訓であるのに読み方が示されておらず、表記の基準によっていない。)	3-(4)	
2	16	2 - 3	ミロの ヴィーナスは、	生徒にとって理解し難い表現である。 (空白。)	3-(3)	
3	50	3	蝕	表記の基準によっていない。 (常用漢字表外の字であるのに読み方が示されておらず、表記の基準によっていない。)	3-(4)	
4	79 - 82		言語活動②と「黄色の日」全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (「科学の営み、文学の営み」と適切に関連付けて扱われていない。)	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 107-187		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	9	表	(表の3段目20行) 「リスク」について考える	生徒にとって理解し難い表現である。 (「赤色の“ ”」。)	3-(3)	
2	76	上14-16	『敦一山月記・名人伝』の原作である小説『山月記』『名人伝』を読んで、芸術家の生き方や技芸の伝承のあり方について八百字程度で論じよう。 中島敦『山月記』『名人伝』	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (「日本の文化を背負う、狂言を背負う、劇場を背負う——『敦一山月記・名人伝』」と適切に関連付けて扱われていない。)	2-(13)	
3	76	下5	①力の源 心の糧 ②稽古 ③師匠 ④紡ぐ	誤りである。	3-(1)	
4	90		(図2のキャプション) U.S. Census Bureau, International Data Base (Data updated)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「(Data updated)」。)	3-(3)	
5	134	中9-12	台湾で生まれ、日本で日本語・台湾語・中国語が飛び交う日常に囲まれて育ち、「中国語がへたくそ」な日本語作家が語る「国語」。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
6	180	上18-20	小説『こころ』を読んで、「『こころ』というタイトル」(179・10)が読者に投げかけている問題について話し合おう。 夏目漱石『こころ』	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (「『遅れ』という問題——『こころ』をめぐって」と適切に関連付けて扱われていない。)	2-(13)	
7	181	上6-7	「恐怖とは何か」「生命との関わり——精神科医として」「『遅れ』という問題——『こころ』をめぐって」において、	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
8	197	側注	(「18公卿」) 朝廷に使える高位の貴族。	誤記である。	3-(2)	
9	197	側注	(「19大小」) 大刀と小刀(脇差)。	誤記である。	3-(2)	
10	280	中8-9	きみのまちに未来はあるか	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-187		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	384	下2	人はなぜ「意思決定」誤るのか	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
12	388	10	①② (同ページ脚注3行目と5行目も同。)	誤りである。	3-(1)	
13	409	下2-5	小説『舞姫』の全文を読み、「立身出世を人生の目標として選び取ることを要請されていた」(406・5)太田豊太郎の生き方について、考えたことをまとめよう。	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (「都市空間のなかの文学——『舞姫』太田豊太郎のまなざし」と適切に関連付けて扱われていない。)	2-(13)	
			森鷗外『舞姫』			
14	431	上22-24	人間の心の特定の側面をモデル化しようとする取り組みと関連する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
15	裏見返(5)	上9-10	◆逆接 例しかし・ところが・だが・けれども あとに述べる事柄が、前に述べた事柄と逆になることを表す。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (逆接について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-188		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	4	下6	「文化が違う」とは何を意味するのか (109ページ下6行目も同。)	不統一である。 (9ページ表最下段、133ページに照らして不統一。)	3-(4)	
2	5	中9-10	主張が的確に伝わるかを吟味し修正する (201ページ上7も同。)	不統一である。 (8ページ表3段15行目、223ページ柱に照らして不統一。)	3-(4)	
3	9	表	(「(学習)素材」の15-16行目) 「なに／だれ」が感じさせているのか	誤記である。	3-(2)	
4	12	上図	「『一人で爆笑する』という表現は誤りだ」(57・6)	相互に矛盾している。 (該当のページ(18ページ)の記述と一致しない。)	3-(1)	
5	30	上7-8	主張と根拠を合わせたものを「立論」と呼ぶ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「立論」の説明として理解し難い。)	3-(3)	
6	30	上14-16	自分の意見や考えを主張するだけでは議論にはならない。大切なのは、自分とは反対側の立論を取りあげて反論したり、相手の根拠自体を批評したりしていくことだ。	生徒にとって理解し難い説明である。 (表題に照らして理解し難い。)	3-(3)	
7	30	下	図全体	生徒にとって理解し難い説明と例文である。 (論理的な文章の読み解き方の説明と例文として理解し難い。)	3-(3)	
8	33	7	具体的な詳細な説明を行う。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「具体的な詳細な説明」。)	3-(3)	
9	38	上8	聴覚映像(聴覚や視覚が捉えた音声と文字)	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (聴覚映像について誤解する。)	3-(3)	
10	42	柱	(「学習活動」2) 「この未来のためのさまざまな教訓」 (51・2)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-188		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	63	下	図全体	生徒が誤解するおそれのある図である。 (教材本文の文章構造について誤解する。)	3-(3)	
12	84	1 - 2	次の資料の分析にある、「野菜は、天候によって作柄が変動しやすく……供給量の変動に伴い価格が大幅に変動」していることを、【卸売価格の推移】のグラフを使って説明しよう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (資料の内容について誤解する。)	3-(3)	
13	84	3	野菜の価格を安定させるにはどうすればよいか、資料の分析をもとに考えて話し合おう。	生徒にとって理解し難い指示である。 (「資料の分析をもとに」。)	3-(3)	
14	96	上3-5	私たちが意識することがほとんどない色にも、経済や政治だけでなく、社会の複雑な絡み合いの中で歴史的、社会的に構築されたものであることを説明した文章。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
15	96	上	「野菜をめぐる情勢(2024年)の表」	生徒にとって理解し難い表である。 (84-85ページの資料に照らして理解し難い。)	3-(3)	
16	97	2 - 16	「②資料の論点を比較して整理する。」全体	生徒にとって理解し難い活動である。 (活動の意図が理解し難い。)	3-(3)	
17	100	上2-9	「読む」全体	生徒にとって理解し難い指示である。 (「資料の論理を読む」に照らして理解し難い。)	3-(3)	
18	109	下3	「なに／だれ」が感じさせているのか？	不統一である。 (4ページ下3行目、120ページ、128ページ9行目、132ページ上3-4行目、同ページ上9行目に照らして不統一。)	3-(4)	
19	111	下	(「2005」の1行目) テンマーク	誤記である。	3-(2)	
20	111	下	(「2005」の2行目) パープーダ	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-188		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	131	22	異文化交流 6	生徒にとって理解し難い表現である。 (直前の説明に照らして理解し難い。)	3-(3)	
22	131	25	作家たちと先輩たちとの語った	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
23	132	上6-7	どのような効果を果たしているか、その分析してみよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
24	144	脚注	(「②国連開発計画 (UNDP)」の4行目) Program me	生徒にとって理解し難い表現である。 (空白。)	3-(3)	
25	158	1	「科学・産業」	不統一である。 (159ページ下に照らして不統一。)	3-(4)	
26	162	左7-8	意見を支える根拠① (162ページ左12-13行目も同。)	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (文章例の内容と構成について誤解する。)	3-(3)	
27	191	右1	③構成メモをもとに小論文を書く。	生徒にとって理解し難い表現である。 (190ページ下1行目に照らして理解し難い。)	3-(3)	
28	191	中10-13	要因としては、夫 (男性) が女性に家事や育児をまかせっぱなしになっていることが考えられる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
29	191	中23-24	家事や育児に縛れるのは	脱字である。	3-(2)	
30	264	上16-下3	若者が「やりがい」を求める動機には、効率重視に偏りすぎた現在の働き方への抵抗も含まれていると考えられる。ヤマザキマリの言うような「移動性の気質」に従って、自発的に農産畜産	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「ヤマザキマリの言うような「移動性の気質」」について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-189		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	20		(著作案内) 『ゼロから始める哲学対話』	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
2	41	下5-7	「課題へのアプローチ」の囲み全体	生徒にとって理解し難い図である。 (「主張」「根拠」「理由づけ」の関係を表す図として理解し難い。)	3-(3)	
3	212	上1-2	(内容把握1) 一行空きで分けられた四つの部分について、それぞれの内容を表す小見出しを考えてみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (設問の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
4	311	図	(アンケート例の2) 【問5-1～2は、問5で③④に回答した人のみお答えください】	生徒にとって理解し難い表現である。 (「問5で③④に回答した人のみ」)	3-(3)	
5	350	脚注8	プディング pudding (英語) 卵や小麦、果物などの材料を蒸し固めた菓子や料理。プリン。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (本文の内容について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-191		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	113	脚注	パラドックス	表記が不統一である。 (本文に照らして不統一。)	3-(4)	
2	182 - 197		・「『友情』と『悔恨』の文学」の「 学習のてびき」 ・「山月記」全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (「『友情』と『悔恨』の文学」と適切に関連付け られていない。)	2-(13)	
3	212 - 246		・「漱石の多様性」の「学習のてびき」 ・「こころ」全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (「漱石の多様性」と適切に関連付けられていない。)	2-(13)	
4	345 - 355		・「個性とは何か」、「他者の靴を履く」の「 学習のてびき」 ・「ラッキーカラーは黄」全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (「個性とは何か」、「他者の靴を履く」と適切に 関連付けられていない。)	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-192		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	164 - 179		<ul style="list-style-type: none"> ・「『友情』と『悔恨』の文学」の「学習のてびき」 ・「山月記」全体 	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。（「『友情』と『悔恨』の文学」と適切に関連付けられていない。）	2-(13)	
2	194 - 228		<ul style="list-style-type: none"> ・「漱石の多様性」の「学習のてびき」 ・「こころ」全体 	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。（「漱石の多様性」と適切に関連付けられていない。）	2-(13)	
3	351 - 361		<ul style="list-style-type: none"> ・「個性とは何か」、「他者の靴を履く」の「学習のてびき」 ・「ラッキーカラーは黄」全体 	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。（「個性とは何か」、「他者の靴を履く」と適切に関連付けられていない。）	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-193		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	120	3	『沙漠学辞典』	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
2	134	脚注	13ネット 一二四ページ注12参照	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
3	180	下1-13	「立場を明確にする」全体	生徒にとって理解し難い説明である。 (説明の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
4	231	上4	(1)存亡の危機(存亡の機) (二二四・12~13)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)	
5	288	下9-11	本文にある『断片的なもの社会学』(二八七・5)や同著者のほかの著書を読み、本文の主張とどのように関連しているか、気づいたことをまとめてみよう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (設問の意図が理解し難い。)	3-(3)	
			(404ページも同。)			
6	381	下11-13	六〇〇字程度の意見文にまとめる。	不統一である。 (381ページ4行目の記述に照らして不統一。)	3-(4)	
7	391	上6-8	ちなみに漢文では、根拠は「所以・故・是以」などといった語句を使って示されることが多い。	生徒にとって理解し難い説明である。 (説明の意図が理解し難い。)	3-(3)	
8	402	7-9	「ものあはれと言ふは」あるいは「あはれと言ふは」から始まる記述に注目し、どのように定義しているのかを抜き出して整理する。	生徒にとって理解し難い指示である。 (教材本文に照らして理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-194		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	目次3	18	スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ (347ページ側注7行も同)	表記が不統一である。 (345ページの著者名に照らして不統一。)	3-(4)	
2	42	下7	「T-O図と『科学的な』地図の違い」	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
3	80	脚注9	(「真木悠介」の注) 『自我の起源』	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
4	87	脚注6	(「大腸菌」の注) 腸内に生息する細菌の総称。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「大腸菌」について誤解する。)	3-(3)	
5	135	下11-12	また「あなた」は「私の心臓を立ち割って、温かく流れる血潮を啜ろうとした。」とも言う。	不正確である。 (出典に照らして引用が不正確。)	3-(1)	
6	135	下12-13	この受け手の「覚悟」を見抜いたとき、「先生」の署名のある遺書が書かれた。	生徒にとって理解し難い説明である。 (教材本文に照らして理解し難い。)	3-(3)	
7	164	下8	(一五八・1)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)	
8	171	15	(「主な著書」) 『いかにして思考するべきか』	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
9	219	脚注	〈反例〉	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文に照らして理解し難い。)	3-(3)	
10	247	下4-6	私たちが生きている世界は、ものやことで成り立つ具体的な世界であると同時に、さまざまな分野の言語によって複雑に分節化され、記号化された世界でもある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「さまざまな分野の言語」。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-194		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	336	上	(図版のキャプション) ドキュメンタリー映画「二重のまち/ 交代地のうた」	不正確である。 (タイトルが不正確。)	3-(1)	
12	365	図	(図版のキャプション) 「移民奨励ポスター」の「奨」	表記の基準によっていない。 (常用漢字表外の字であるのに読み方が示されてお らず、表記の基準によっていない。)	3-(4)	
13	367	4	拡がり	表記の基準によっていない。 (常用漢字表外の訓であるのに読み方が示されてお らず、表記の基準によっていない。)	3-(4)	
14	371	上12	「現代社会が直面している移民・難民 問題の淵源」	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
15	393	脚注	〈等値〉	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文に照らして理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-196		学校 高等学校		教科 国語	種目 論理国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	58	2	私たら	誤記である。	3-(2)	
2	84	13 - 15	「国語に関する世論調査」（文化庁・平成一六年度）によると、「つまらないものでも、ないよりはまし」という意味である「枯れ木も山のにぎわい」について、「人が集まればにぎやかに	生徒が誤解するおそれのある表現である。（「誤用」。）	3-(3)	
			なる」という誤用が広まっているという。この誤用が広まった背景を考えてみよう。			
3	122	上16- 17	□『イソップ物語』を読んで、自分が最も印象に残った話を、その理由とともに発表してみよう。	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。（「経験の教えについて」と適切に関連付けて扱われていない。）	2-(13)	
4	133	18	それらを取り巻く課題にはどのようなものか	生徒にとって理解し難い表現である。（係り受けが理解し難い。）	3-(3)	
5	134	1	【資料C】	誤記である。	3-(2)	
6	190	柱4	『「わからない世界」の科学』	不正確である。（教材名が不正確。）	3-(1)	
7	195	3	『妖怪学新考 妖怪から見る日本人の心』	不正確である。（書名が不正確。）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

